

市政ニュース

「豊岡市国際交流協会」が発足 旧市町4協会が気持ちを一つに合併

市内の旧4市町（豊岡市、日高町、出石町、但東町）の国際交流協会が統合し、豊岡市国際交流協会の設立総会が、4月22日、豊岡市民プラザで会員約100人が出席して開催されました。

総会では、本部を旧豊岡市に置き、これまでの旧市町の協会を支部として存続させ、さらに、旧城崎、竹野両町の国際交流も進めていくことが確認されました。また、会長には、旧豊岡市国際交流協会長の藤原俊輔さんが選出され、「合併を契機に新しい発想で、協会の活動を進めていきたい」と抱負を語られていました。



▲合併を記念してモンゴル民族衣装で登場したソルトさんとチガさんが素敵な演奏と歌声を披露した

さらに、当日は、合併記念イベントとして、馬頭琴・三味線のジョイントコンサートやフラメンコダンス、ニュージラインド映画の上映、交流パーティー、交流写真展などが行われ、会員は和やかな雰囲気の中で親交を深めていました。

自然体験学校が開講

子どもの野生復帰を目指して大作戦開始

自然体験に関する子どもと大人のリーダーを養成する「自然体験学校」が5月に、それぞれ開講しました。

この教室は、子どもの野生復帰大作戦の一環として取り組まれるもので、自然体験が不足している子どもたちに自然を体感させ、ふるさとを愛する心や正義感、道徳観などを養おうとするものです。

このうち小中学生を対象とした教室の開講式は、5月13日・14日、たけのこ村で行われ、受講生は、それぞれ自己

紹介した後、里山に入って、自然観察や野草クッキングなどに挑戦しました。まどめの会で、子どもたちは「カワゲラを見つけた」「カジカガエルの声を聞いた」「湧き水を飲んだ」など生き生きとした表情で体験報告をしていました。

両教室は来年3月まで毎月1回の日程で開催し、子どもは自然体験、大人は講義と野外実習を中心に活動を行い、リーダーとしての知識や技術を身につけていきます。



▶自然の中に隠されたプラスチック製品などの人工物を見つけ出すネイチャーゲームに子どもたちは夢中

小学校新1年生に防犯ブザー配布 子どもの安全を守る

小学校入学式が行われた4月7日、市内の新1年生855人に防犯ブザーが配布されました。

これは、市教育委員会が平成17年度策定した「教育行動計画」に盛り込まれている「子どもの安全を守るまちづくり組んだもの」の一環として取り

子どもたちは、入学式終了後、教室で担任の先生から防犯ブザーを渡され、使い方の説明を受けた後、真新しいランドセルに取り付けていました。

今後、各小学校では、防犯ブザーを使用した実地訓練や地域住民への啓発活動を行う予定です。



▲新1年生に配布された防犯ブザー

赤木家住宅が国登録有形文化財に

新「豊岡市」第1号の登録文化財

日本の砂防の礎を築き、「砂防の父」といわれる赤木正雄氏の生家「赤木家住宅」(引野)が、3月に国登録有形文化財になりました。

明治初期に建設された主屋をはじめ土蔵群、作業所、門、番人小屋、屋敷塀などがほぼ原形のまま残っており、「国土の歴史的景観に寄与している」ことなどが評価されました。

2階建瓦葺の主屋は、1階

を6間取として2階にも座敷を設け、農家建築としては質・規模ともに秀でています。

また、屋敷全体が堅牢な石垣で高上げされ、土蔵の軒下には、水害時に飲料水や炊き出しの食料を配るための木船が吊るしてあるなど、古くから地域の防災拠点であったことが伺えます。なお、本文化財は原則、非公開です。



▶「赤木家住宅」は、明治・大正時代の代表的な但馬の農村大地主住宅。兵庫県の「住宅百選」にも選ばれている

コウノトリ育むお米生産部会が設立 コウノトリも住める米作りを推進

コウノトリも住める環境づくりに配慮した米作りを目指す「コウノトリ育むお米生産部会」(事務局 J A たじま)の設立総会が、4月19日、J A たじま豊岡営農生活センター(八宮社)で開催されました。

同部会は、市内の営農組合など48人(団体含む)で構成。総会では、無農薬、減農薬に加え、中干しの延期や冬期間

の湛水などの水管理により生き物を育み、安全安心なお米を生産する「コウノトリ育む農法」を市内にさらに広げていくことが確認され、本年度約65ヘクタールである栽培面積を、平成20年度には、約200ヘクタールに拡大することが目標に掲げられました。

同部会では、今後も参加する農家を募っていくことにしています。



▶総会では、専務部長が「みんなが安全安心なお米づくりをしよう」と会員に呼びかけていた

コウノトリ環境経済コンソーシアムを設立 環境経済ビジネスの構築を目指して

豊岡独自の持続可能な環境経済ビジネスの構築を目指した「コウノトリ環境経済コンソーシアム」の設立総会が、4月27日、コウノトリ文化館で開催されました。

同コンソーシアム(協会)では、複数の企業や団体などが「企業連合体」をつくり、行政と連携して、平成16年に策定された「市環境経済戦略」

の具体化に向け企画・実践していくことにしています。

今後の活動内容としては、県立コウノトリの郷公園に隣接して建設される「地域交流センター(仮称)」の運営や各種ツーリズム(観光事業)プログラムの開発、新エネルギー・リサイクル事業の企画などを支援していくことが検討されています。

次世代育成支援対策豊岡市特定事業主行動計画を策定 職員みんな子育てを支えあう

市では、急速な少子化が進み家庭や地域を取り巻く環境が変化している状況下で、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育つ環境を整えていくため、次世代育成支援対策を推進しています。

この度、市は本対策を庁内で推進するため、市が事業主として実施する職員向けの支援対策をまとめた行動計画を策定しました。

本計画には、職員が育児休業などを取得しやすい環境の

整備、男性職員の積極的な子育てへの参加を推進するための意識改革や休暇制度の利用促進などの具体的対策を盛り込んでいます。

計画期間は、平成22年度までの5年間で、庁内に行動計画推進委員会を設置し、各種対策の実施状況のチェックや計画の見直しなどを行うことにしています。

計画内容の詳細は、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。